

スレッドとパフォーマンス・プロファイラー

インテル® Parallel Amplifier 2011

製品紹介

インテル® Parallel Amplifier 2011



「インテル社のソフトウェア開発チームには本当に感謝しています。インテル® Parallel Amplifier がほとんどの時間を費やしているソース行を正確に示したときには大喜びしました。すぐに変更を加えたところ、アプリケーションは今や10倍近い速さで動作しています。GUI の操作方法も非常に簡単でした。」

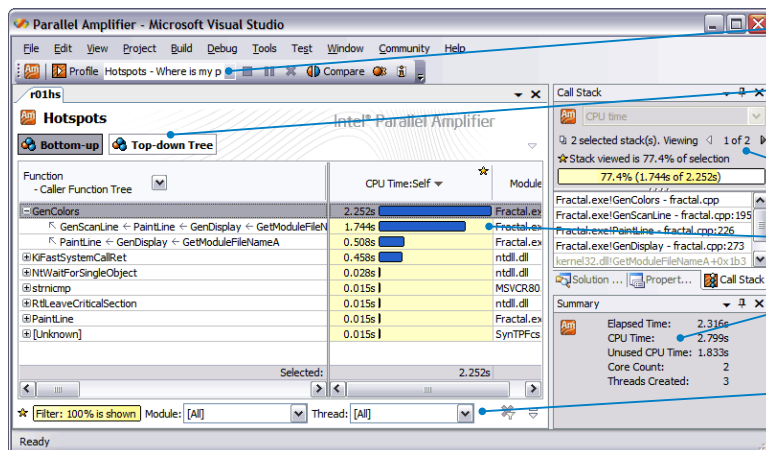
ヒューストン大学
生命医学研究所
研究アシスタント
Dat Chu 氏

パフォーマンスとスケーラビリティの最適化

インテル® Parallel Amplifier 2011 は、プロセッサ・アーキテクチャやアセンブリ・コードの知識がなくても、マルチコア・パフォーマンスのボトルネックを簡単に素早く発見します。従来の推測作業をなくして、Windows* アプリケーションのパフォーマンス特性を分析し、迅速かつ精度の高い意思決定を促すスケーリング情報を素早く入手することができます。

インテル® Parallel Amplifier は、最適なパフォーマンスを実現するためきめ細かなチューニングを支援し、コアを十分に有効活用することで、アプリケーションが新しい機能を実装できるようにします。

- 顧客満足度を高める大幅なパフォーマンス向上
- 豊富な機能セットと次世代のイノベーションのためにアプリケーションの余力を確保
- パフォーマンスの問題を素早く簡単に発見
- マルチコア用にアプリケーションをスケーリング



分析タイプを選択

コールスタックをボトムアップまたは
トップダウンで表示

選択した関数のコールスタック

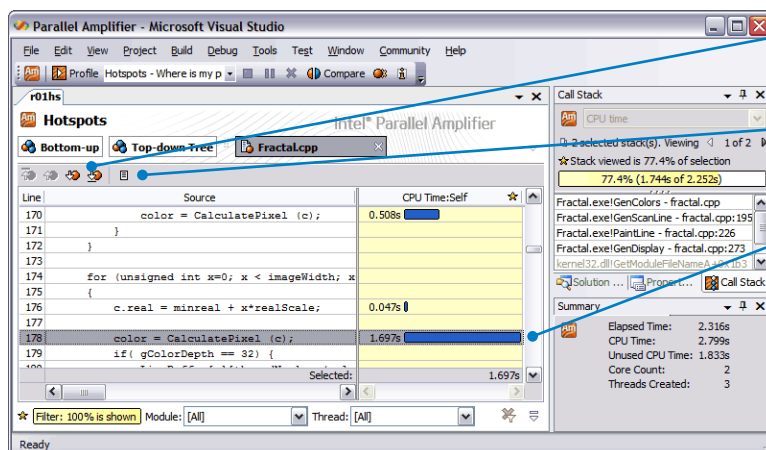
関数ごとの CPU 時間

経過時間、CPU 時間、および未使用の
CPU 時間

結果をフィルター

hotspot 分析: プログラム中で最も時間を消費している場所は?

アプリケーション中で、最も時間を消費している場所を特定します。該当する場所が、プログラムの実行速度の向上につながるチューニングやスレッド化する場所の候補です。また、インテル® Parallel Amplifier ではスタックを表示し、関数がどのように呼び出されているかを示します。これにより、複数の呼び出しシーケンスを持つ関数について、コールスタックの 1 つがほかよりもホットかどうかを確認することができます。



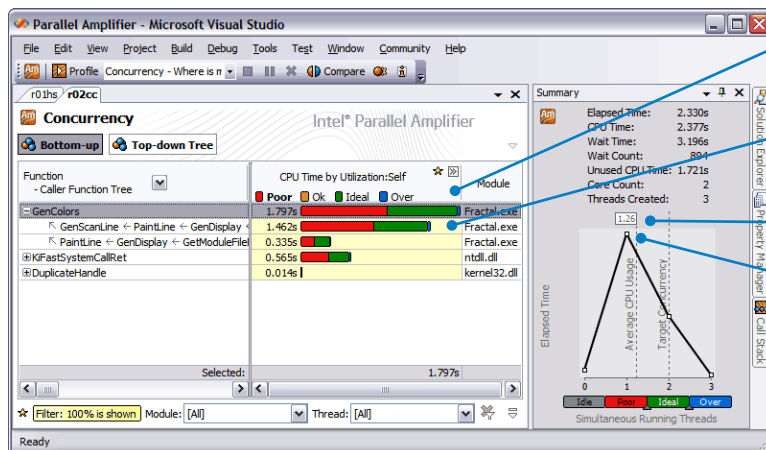
この関数の次にホットな場所まで移動
します。

クリックしてこの場所のソースコードを
ファイルエディターで開きます。

任意の分析で関数をダブルクリックすると、
その関数の最もホットな場所のソースが開
きます。

ソースビュー: ソース結果の参照

ソースビューでは、ソースの正確な位置が示されます。任意の分析ビューで関数名をダブルクリックすると、ソースが表示されます。



コアの利用率をチューニング

緑 = 理想

赤 = 低い

バーの長さは時間を表し、色は関数が実行中の際の利用率を示します。

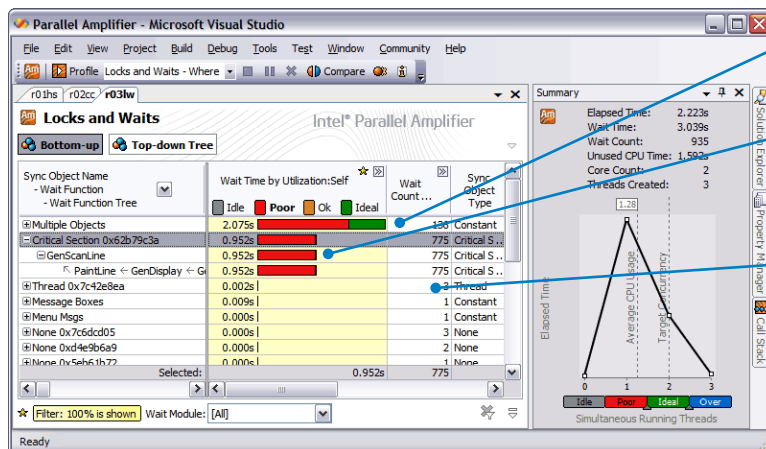
平均の CPU 利用率

このアプリケーションでは、ほとんどの時間で 1 つのコアしか使用されていません。

コールスタック情報を利用できます（ここでは表示されていません）。

並列性分析: コアが待機しているのは?

hotspot 分析と同様、並列性の分析では、最も時間を消費している関数の場所を検出します。また、関数の実行中のコアの利用状況を色別に示します。緑のバーはすべてのコアが動作していることを意味し、赤いバーはコアが有効利用されていないことを示します。赤い場合は、スレッドを実装し、すべてのコアを有効利用するようにしてください。これにより、コア数が増えるごとにアプリケーション・パフォーマンスがスケールアップするようにします。



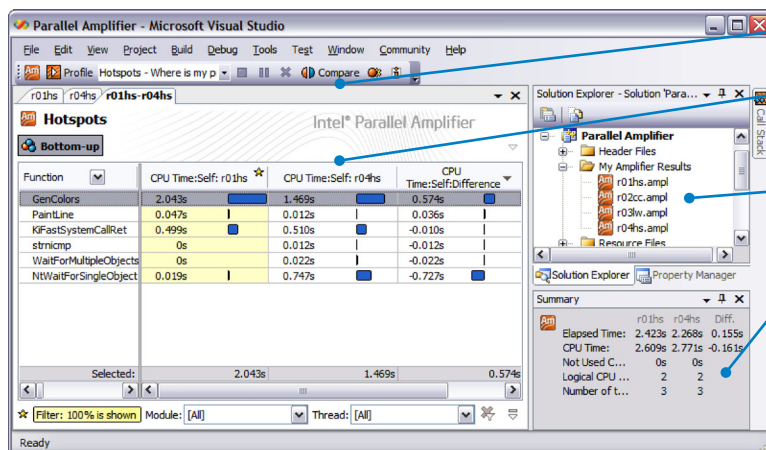
バーの長さは、待機時間です。色は、待機中のコア数の利用状況です。

コアが有効利用されていない状態での待機はパフォーマンスに悪影響を及ぼします。

待機数は、検証する待機部分を特定するのに役立ちます。

ロックと待機の分析: 改善すべき待機の場合は?

ロックによる長時間の待機は、パフォーマンス問題の一般的な原因です。コアがすべて利用されている場合（緑）は問題ありません。しかし、未使用のコアがある場合（赤）は改善する必要があります。



2つの結果を比較します。

各関数についての時間と差異を表示します。

以前の結果を使用します。

変化の概要

結果の比較: 何か変わったかを素早く確認

これにより、チューニング時の迅速な進捗確認ができ、また、便利な回帰分析にもなります。

機能

- Microsoft* Visual Studio* との完全な統合
- Microsoft* コンパイラーとインテル® コンパイラーのサポート
- インテル® Parallel Studio、Microsoft* Visual Studio*、インテル® スレディング・ビルディング・ブロック（インテル® TBB、インテル® Cilk Plus、OpenMP*、Windows* API により提供されるスレッド化のすべてのモデルで動作

- 直感的でスレッド・アプリケーションに特化した設計

インテル® Parallel Amplifier 2011 の主な特長：

- アプリケーションの hotspot を発見し、ソースを表示
- 並列性を分析して、スケーラブルなパフォーマンスを得られるよう並列アプリケーションをチューニング
- ロックと待機の分析により、並列パフォーマンスを制限するクリティカルな待機を発見
- 結果を比較して変化を素早く確認したり、回帰を検出
- メニーコアにおいて自動でスケーリングするアプリケーションをビルド

「パフォーマンス・プロファイル機能はとても簡単に使用できます。いったん分析が完了すると、ほんの数秒で問題点が表示され、ソースコードをどのように修正すればいいかわかります。」

シニア・ソフトウェア開発者
David Mercier 氏

システム要件

- Microsoft* Visual Studio* 2005、2008 または 2010 開発環境
- 最新のシステム要件については、次の Web ページを参照してください。
www.intel.com/software/products/systemrequirements/（英語）

サポート

インテル® Parallel Studio 製品をご購入いただくと 1 年間のサポートサービスが提供されます。このサポートには、インテル® プレミアサポートへの問い合わせ、製品の最新版のダウンロードおよび、テクニカル・ドキュメントへのアクセスが含まれています。

詳細は、<http://software.intel.com/sites/support/>（英語）を参照してください。

評価版のダウンロード

評価版のダウンロードについての詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.intel.co.jp/jp/software/products/intel-parallel-studio-home/>

究極のオールインワン・パフォーマンス・ツールキット：インテル® Parallel Studio 2011

今日のシリアル・アプリケーション、そして明日のソフトウェア・イノベーションのための設計

インテルは、シリアル・アプリケーションおよびマルチコアやメニーコア向けの新しいスレッド・アプリケーション用に設計された生産性ソリューション・セットにより、Microsoft* Visual Studio C++* 開発者に簡素化されたスレッド・プログラミング環境を提供します。

革新的なスレッド化アシスタント

インテル® Parallel Advisor 2011: スレッド・アプリケーション設計を明確化および迅速化

コンパイラーとスレッド化ライブラリー

インテル® Parallel Composer 2011: C/C++ コンパイラーと高度なスレッド化ライブラリーで効率的なアプリケーションを開発

メモリーエラーとスレッド化のエラーチェッカー

インテル® Parallel Inspector 2011: 並列メモリーエラー / スレッドエラーを未然に防ぐ検証機能でアプリケーションの信頼性を確保

スレッドとパフォーマンス・プロファイラー

インテル® Parallel Amplifier 2011: スケーラブルなマルチコア・パフォーマンスが得られるようにボトルネックを迅速に検出してスレッド・アプリケーションをチューニング

